

風水害に備える

台風の季節がやってきました。普段からの備えがいざというときに役立ちます。

毎年、日本各地で台風や大雨による災害が発生し、尊い命が失われています。日光市内でも、豪雨による土砂崩れや河川のはらんなどの災害が幾度も発生しています。過去の災害からの教訓を踏まえ、風水害への備えを行いましょう。



写真上 大雨で増水した大谷川の様子。河川の治水のため、堤防の設置や護岸工事などが行われていますが、大きな台風などによる大雨の際には、不測の事態も考えられます。大雨で河川の水量が増している時は、河川に近づかないようにしましょう。



写真左 雨で緩んだ地盤が崩れ、道路が寸断されることがあります。台風などの豪雨の際は、できるだけ家で待機するようにしましょう。車に乗る際は、交通情報をこまめに確認しましょう。

防災意識を高めましょう

栃木県の山間部は大雨の降りやすい地域です。私たちの住む日光市でも、過去に大雨による災害で大きな被害が発生しています。これからの季節は、特に大雨が降りやすく、また台風が多く発生する時期でもあります。大雨や暴風による被害を最小限にするために、日ごろから防災意識を高めましょう。

台風が来る前に

暴風雨や高潮、高波など、さまざまな被害をもたらす台風。しかし、突発的に発生する地震などと違って、発生してから接近するまでに時間的な余裕があります。台風が発生したら、テレビやラジオなどの気象情報に注意し、進路や大きさをよく把握しておけば、被害を最小限に抑えることができます。

大雨は急にやってくる

力強く大きなお坊さん(入道)に似て



市役所本庁で協定書に調印した齋藤市長(右)と、イオン・ジャスコ今市店の田中店長

災害時協力協定を結びました

市とイオン株式会社ジャスコ今市店は、7月18日(火)、「災害時の物資供給等に関する協定書」および「災害時における防災活動協力に関する協定書」に調印し、締結しました。

この協定は、市内で風水害や地震などの大規模な災害が発生した時に、ジャスコ今市店が防災活動に協力することに關するものです。主な内容は、被災者に対する資材、生活必需品、避難場所などの提供や、被災者の救助などの防災活動への協力となっています。

入道雲がさらに発達すると積乱雲になります。積乱雲の発達はとても早いので、集中豪雨を予測するのは困難です。普段からの備えと、大雨の情報を聞いたらすぐに対処することを心掛けましょう。

※入道雲：発達した積雲(雄大積雲)の雲頂が丸みを帯びたものの通称。巻雲などを伴わない積乱雲(無毛積乱雲)を含んで指す場合もある。